

インドネシア国立  
ハラパンキタ病院  
心臓手術研修留学

(徳洲会支援事業)



# 2026年8月 完成予定

## HARAPAN KITA - TOKUSHUKAI



徳洲会が最大100億円を無償資金協力して推進する共同プロジェクト

徳洲会の医師ら医療従事者の臨床・研究・教育の場として人事交流も実施していく計画

# 心臓血管外科フェロー研修 (3カ月～6カ月海外研修)

ハラパンキタ病院:年間心臓手術件数:約2000件

研修開始20日間の症例数  
(川上先生より)

手術件数 28件

内)開心術 25件

内)執刀 9件

月30～50件の心臓手術経験でき執刀件数も獲得可能

2025年4月～ 6ヶ月間

川上敦司 医師

宇治徳洲会病院 心臓血管外科副部長

2025年5月～

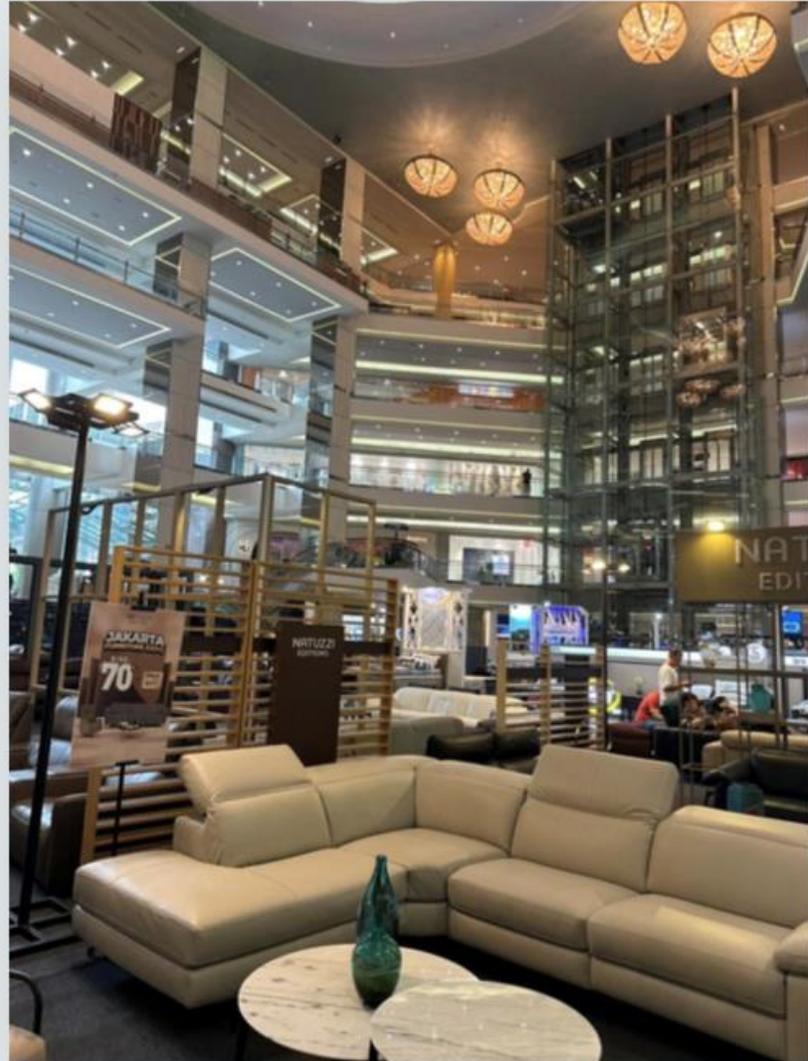
山内博貴 医師

名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科医長

# 手術臨床研修



## 滞在している宿舎・環境



隣接のショッピングモール



宿舎(海外の方も多く在住されている)



1 LDK

# インドネシア国立循環器病センターハラパンキタ病院 海外研修をはじめて(1か月間)

元々私は、英語もほとんど話せず、インドネシア語を3ヶ月勉強してから留学を開始しましたが、初めは皆が何を言っているのかも全くわからず言いたいことを伝えることもほとんどできませんでした。

しかし、現地の医師で日本語を話せる方もおられ、助けていただきながら徐々にコミュニケーションが取れるようになってきました。

現場のスタッフとは、留学時点では、全員と初対面でしたが、以前日本人の方が留学しておられたこともあってか、優しく受け入れていただけました。

手術内容ですが、手術の具体的なやり方は違うものの、日本である程度研修をしてれば、十分理解できるものという印象でした。オーブンの医師は、手術に参加するチャンスを積極的に与えてくださり、**思っていたより遥かに早い段階で、執刀などの重要な役割もいただきました。**

まだ始まって間もない段階ですが、**良い研修になれる**と思えています。



# 若手の心臓血管外科医へ

今回の留学は、まだ始まったばかりですが、

かなり多くの手術を経験できるチャンスがある印象です。

留学前は、初めはしばらく手術見学だけで、あまり重要なポジションは回ってこないだろうなと思っていましたが、実際には、1週間経った時点で執刀のチャンスもいただけました。

手術のどの部分を任せてもらうかは、その手術のオーベン次第ですが、オーベンとしてもできることは積極的にさせようとしてくださっている印象です。

手術中は皆インドネシア語で話をするので、インドネシア語の勉強は全くなしというわけにはいかないとと思いますが(小児心臓の日本人医師の先生は英語のみらしいです)、手術中に使うインドネシア語は限られているので、手術中の最低限の言葉は、比較的すぐに覚えられるのではないかと思います。(世間話は何を言っているのかは全くわかりません。)

徳洲会グループのバックアップ体制も非常に手厚く、かなり安全な環境で留学させていただけているのではないかと思います。

内容としては、心臓外科になってすぐよりは、日本である程度研修をして、ある程度の手術スキルがついてからの方が、メリットが大きいのではと思いました。



# ハラパンキタ病院研修の特徴 (研修医師からの感想)

- 優しく受け入れてもらってます
- 手術チャンスをいただける
- 良い研修になっています。
- 手術のみに専念できる点がいい



*Terima Kasih*

